

県議会議員はくいし恵子の



風だより

'25. 2月議会報告ダイジェスト



発行者 はくいし 恵子
事務所 松江市大輪町414-12
TEL/FAX 0852-23-0880
発行日 2025年3月13日

* はじめに

寒い日が続きましたが、晴れた日はさすがに春めいた日差しが届くようになりました。2月議会は来年度の当初予算や各種計画案等多くの議題について審議いたしました。また折り返し地点でもあり、所属する委員会の最後の審議となりました。2月議会報告をお届けしますので、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

* 2月定例議会、一問一答質問

質問：母子生活支援施設について

- 1) 県内1か所しかないこの施設がなくなることを県はどう考えるか伺う。(知事)
所在する松江市だけでなく県内全ての市町村も利用する。母親の自立支援と子どもの福祉を担っていただいている。県として必要な施設と考えている。
- 2) ひとり親のアンケートでこの施設を知っているのは29.2%。県のパンフレットの活用など必要な人に届く広報活動を積極的に行ってほしいが。(健福部長)
今後一人親に渡すパンフレットに載せることに合わせ、市町村担当者へ施設の役割や設備などについて更なる周知に努める。またSNSやメルマガなど様々な手段を使って積極的に発信していく。
- 3) 鳥取県では施設と一緒に市町へ説明に行くなど努力されている。鳥根県では具体的にどんな説明の場を持っているか伺う。(健福部長)
実務担当者会議での説明、各種計画に盛り込む時に施設職員も参加する等。近年十分な広報活動ができていなかったため、今後は施設と連携し、児童相談所所長や市町村の女性相談担当者の会議に施設から説明をしてもらうこととしている。
- 4) アウトリーチ(地域を対象にした)事業は施設側も取り組む必要があるが、県の後押しについて伺う。(健福部長)
R7年度から松江市の委託で母子のショートステイ事業が始まる。また現在県が委託している一時保護事業やステップハウス事業を見直し、利用や入居基準の緩和を検討している。



* 母子生活支援施設とは：児童福祉法に規定されている施設。DV 被害者や離婚して住む

ところのない母子（離婚していなくても）、経済的に困窮している母子、障がいなどで子育てに困難を抱える母子が利用できる。母子支援員や子ども支援員を配置している。

質問：中央病院の経営について

1) 中央病院の経営状況を伺う。(病院事業管理者)

R5年度純損益 47,500 万円、単年度資金収支 62,200 万円の赤字。R6 年度決算見込みは純損益 126,200 万円、単年度資金収支は 138,900 万円の赤字。H25 年度以降赤字が続いたため、経営改善実行プランを作成、R 元年度から R4 年度までは黒字が続いたが、コロナ補助金もなくなり再び赤字となった。

2) 所在地の出雲市には病院が集積している。差別化の取り組みと病院全体での情報共有について伺う。(病院事業管理者)

高度救命救急センターとして24 時間体制での高度医療の提供、高機能ドックの導入、周産期母子への継続的サポートなどを実施。情報誌等で広報している。病院全体での情報共有は経営通信により周知、幹部職員会議での説明、診療科ヒアリングや職員からの改善提案募集などに取り組んだ。今後もより工夫していく。

3) 病院局の事務職員は知事部局からの派遣だが、経営改善に長く取組めるよう異動期間を工夫することは出来ないか伺う。(知事)

病院局からも同様の要望があったので、3 年を超える長期配置などできる配慮はしている。しかし、要請を完全に満たすことは難しいので、経験者を配置することも含め、配慮していきたい。

*赤字問題は全国の自治体病院の 7 割が赤字ということからも構造的な問題。給与費が上がっているのにそれに見合った診療報酬のアップがないことからきていること。国には根本治療を目指してもらわないといけない。(知事)

*私も同感だが、一方で診療報酬をアップすれば患者の負担も重くなる。そのバランスを考えないといけない。(はくいし)

(本音は、国に経営改善交付金のようなものを創設してもらいたいと思っています。)

今議会では「母子生活支援施設」について取り上げました。県内 1 か所しかないのに、閉園を考えるぐらいまで委託数が減っています。シングルマザーがみんな安心して暮らしているから必要ないのであればよいのですが、決してそうではありません。むしろ生活は苦しくなるばかりだと思います。一般的に知られていないこと、委託する市町村の担当者が良く理解していないことが大きな問題だと思っています。H28 年にも同様の質問をし、その後改善したのですが、10 年経ってまた同じ事が起こっています。県にも継続的な広報をお願いしたいと思います。

この問題も新聞に取り上げていただきました。良い広報になったのではないかと思います。皆様にもご意見ご感想をお寄せいただくと嬉しく思います。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします m(_)m

2025年3月13日

はくいし恵子



HPは <http://www.k-hakuishi.sakura.ne.jp/office/>

FBは「はくいし恵子」事務所 FBは「はくいし恵子とともに」で!